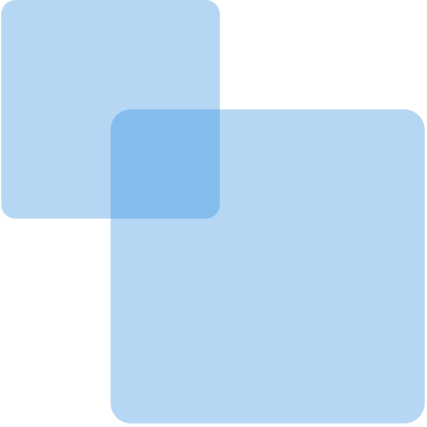




社会貢献センターを中心とした

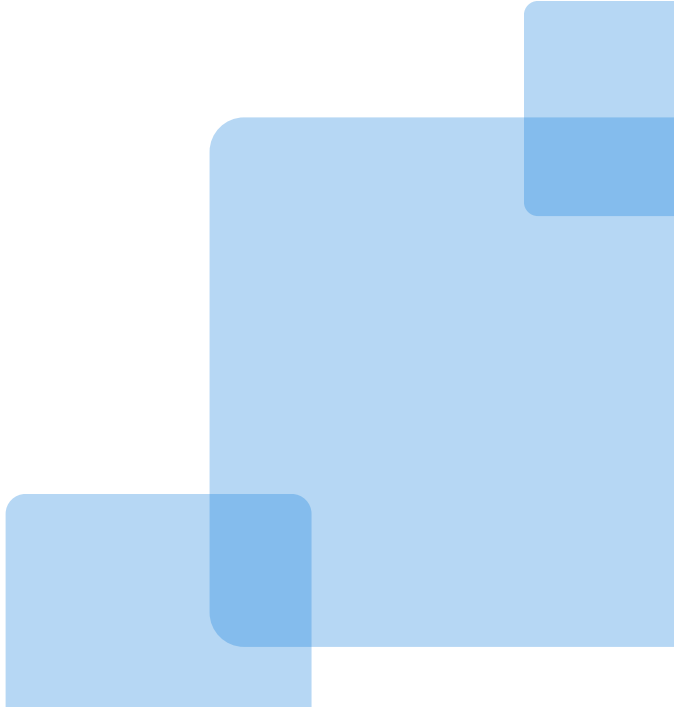
リカレント検討WG 最終報告

2023年3月10日

デジタル活用推進委員会承認版

WG座長

社会貢献センター長 高山 直樹

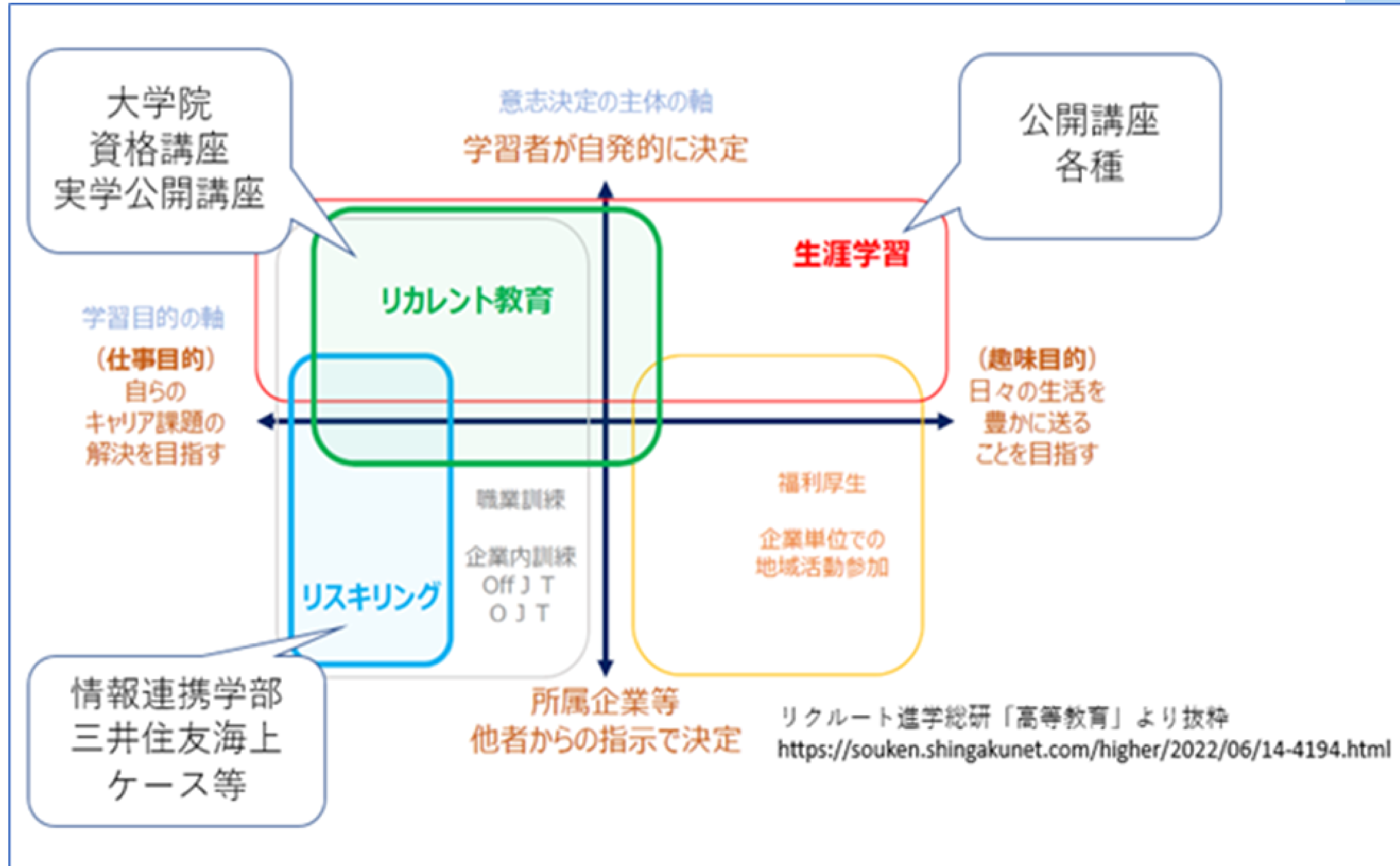


目次

2022年7月から延べ9回の
ディスカッションを行い、
4つの柱を中心とする計6
つのアクションプランを策
定しました。

- 1．今後の計画にかかる全体像
- 2．6つのアクションプラン
- 3．全体スケジュールイメージ
- 4．検討WGメンバー及び活動履歴

1. 今後の計画にかかる全体像



2. 6つのアクションプラン

東洋大学教育DX推進基本計画

計画3 「建学の精神の具現化を目的としたリカレント教育の世界展開（国内地域を含む）」

1

人生100年時代の生涯学習

総合大学の強みを活かした公開講座
従来の生涯学習型に加え、第2部、大学院準備教育との連動を目指す。

2

大学院準備教育・資格取得講座

リスキリングとリカレントが重なる社会人向け講座。学部・研究科・研究所との連携による専門職向け講座を展開

3

講師派遣生涯学習

井上円了の志を受け継ぐ、地域・PTA、小学生～高校生まで幅広い年齢層向けの団体対象オンライン講座

4

伝統的教養の海外への展開

実証実験として「オンラインビジネス日本語」＜TUGS＞と連携し、講師派遣等のテーマをオンライン配信する。

5

リカレント/リスキリングの助成事業

教員の教育研究内容を活かし、リカレントまたはリスキリング事業として伸ばす、スタートアップ型の学内助成制度

6

社会貢献センター内アドバイザー設置

社会人教育の専門アドバイザーを配置し、教員の相談を受けるほか、本学のリカレント事業の進展を企図する。

人生100年時代の生涯学習

総合大学の強みを活かした公開講座

従来の生涯学習型に加え、第2部、大学院準備教育との連動を目指す。

LIFE SHIFT

ライフ・シフト アカデミープラン

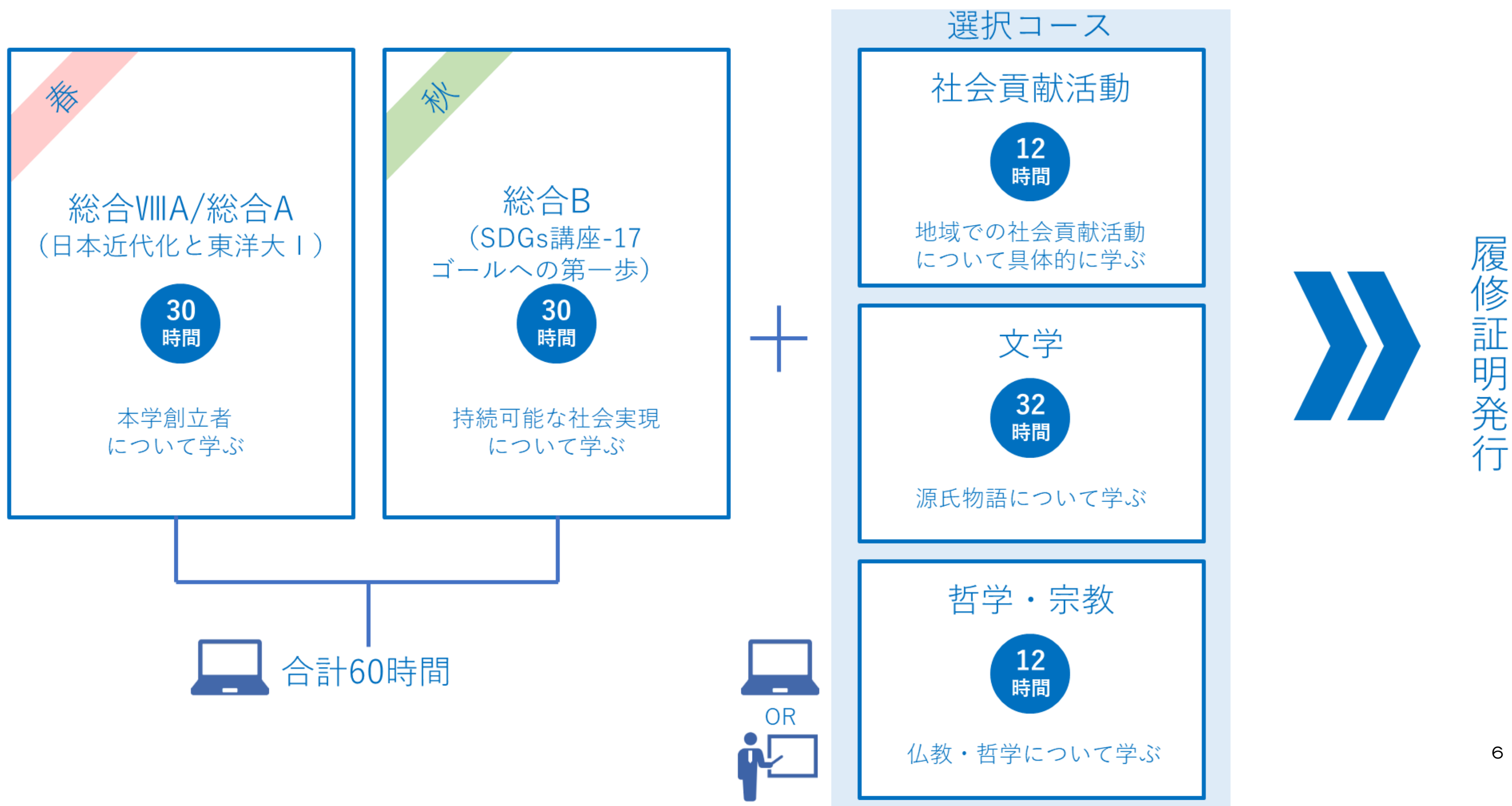
「人生100年時代」

変化するこれからの環境に順応するために
自分の中で大切なものとは何か

円了の哲学に触れ

主体的に現代を生きるためのアカデミー

LIFE SHIFT（ライフ・シフト）アカデミープラン



LIFE SHIFT（ライフ・シフト）アカデミープラン

名誉教授の公開講座を活用

選択コース

STEP01

春

身に着ける
本学の精神を

総合III A / 総合A
(日本近代化と東洋大 I)

30時間

本学創業者
について学ぶ

STEP02

秋

現代を知る

総合III B
(SDG 講座-17
ゴールへの第一歩)

30時間

持続可能な社会実現
について学ぶ

+

STEP03

社会貢献活動

12時間

地域での社会貢献活動
について具体的に学ぶ

文学

32時間

源氏物語について学ぶ

哲学・宗教

12時間

仏教・哲学について学ぶ

目標・やりがい形成



履修証明発行

現役学生と共に受講
刺激を受け合う環境

合計60時間

Web受講も可能
年代・地域を問わず
多様な層にアプローチ

LIFE SHIFT（ライフ・シフト）アカデミープラン



キャンパスライフ

- 図書館や学食
- パソコン利用施設

東洋大学の各施設を利用することが可能。また、対面かWebか受講形態を都度選択可能なため、地方の方や感染症が心配な方も気軽に受講可。



ゼミナール活動

- ディスカッションの場

各コースの受講者ごとに集い、講義後にディスカッションする場を設ける。担当講師も参加し、学びのベースアップを図る。また、仲間との活発な議論を通し、より履修者同士の繋がりを深める。



課外活動

- 魅力ある課外活動

社会貢献コースであれば「子ども食堂」、文学コースであれば「源氏ゆかりの町歩き」、哲学・宗教コースであれば「座禅体験」など、座学のみでなく様々な魅力ある課外活動を通して学びを深める。



情報提供

- 最新の研究発表を聴講

情報が埋もれがちな研究発表の場を「見える化」し、受講者へ情報提供。より専門的で最新の研究成果を聴講する機会を設ける。また、コースの担当教員の所属するネットワークから、参加可能なシンポジウムなど学びの機会を捻出する。

孤独感

目標の喪失

退屈

好奇心

社会との
関わり



生きがい

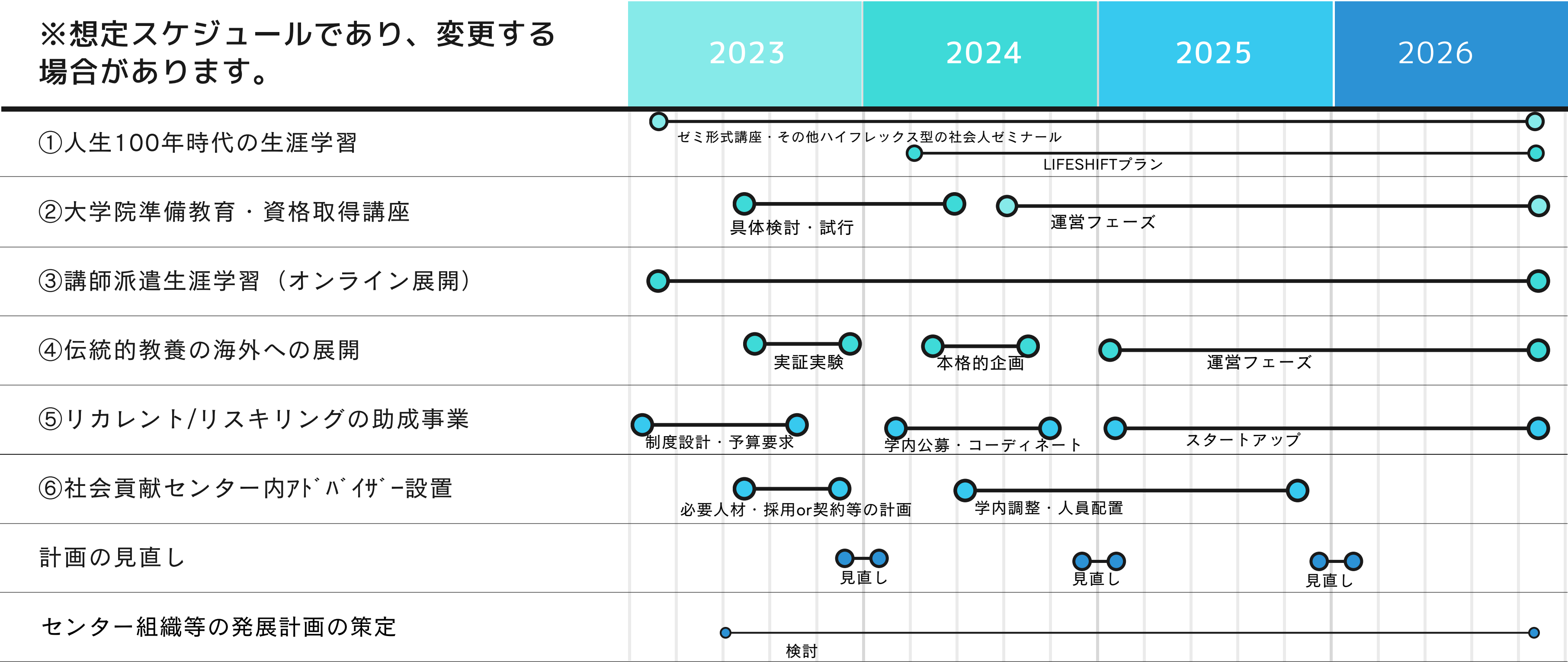
仲間

新たなネットワーク形成

LIFE SHIFTアカデミーを受講することで、これまでの交友関係とはまた異なる、東洋大学での「学び」を通してうまれた新たなコミュニティがえられる。受講中・受講後に受講生同士で任意団体や自主学習サークルを形成することを後押しし、受講生が主体となり自発的な活動ができるようサポートする。

そのほか、プラン2～6についても段階的に進めてまいります。

3. 全体スケジュールイメージ



4. 検討WGメンバー及び活動履歴

WGメンバー

- ・高山 直樹 教授 (社会学部)
※社会貢献センター長
- ・金子 律子 教授 (生命科学部)
- ・古川 和稔 教授 (ライフデザイン学部)
- ・横田 祥 教授 (理工学部)
- ・堀本 麻由子 准教授 (文学部)
- ・事務局
エクステンション部エクステンション課
学長室学長事務課

活動履歴

第1回 (7/21) 方針共有・検討枠の共通理解・目線合わせ ①講師派遣事業・公開講座実績、現状課題の把握 ②社会貢献センターのミッション理解・共有 ③ワーキング検討テーマの確認
第2回 (8/2) ①他大学の事例研究 ②教員の参画・講師派遣協力にかかわる充実施策 ③受講者層の拡大、新規ターゲット開拓
第3回 (8/18) ①受講者層の拡大、新規ターゲット開拓 ②開講形態、地域連携に関わるアイデア
第4回 (9/6) ①校友会との連携 (講座提供と受講者層拡大) ②4つの柱と諸課題検討 (教員参画、負担軽減、インセンティブ、広報強化、運営組織強化、IT インフラ、地域・校友会連携、個人単位の連携、海外展開、予算その他運営上の考慮)
第5回 (10/24) ①中間報告内容の確認
第6回 (11/7) ①2023 年度行う実証実験的な取り組み 海外展開の検討 (TUGS における日本語ビジネス講座の報告講師派遣事業の海外展開の可能性)
第7回 (11/21) ①校友会との連携によるリカレント・リスキリングの展開可能性
第8回 (12/5) ①校友会からの提案事項の共有 (社会ニーズを踏まえたリカレント・リスキリング) ②海外展開における TUGS との連携事業における運営方法等について
第9回 最終報告まとめ